

事業所における自己評価（公表）

公表：令和 4年 3月 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・利用人数によってばらつきがあり、日によっては狭く感じることもあるが、机の種類や配置等でスペースが確保できるよう工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	6	1	・職員数がギリギリの時もあるが、声出しやアイコンタクト等で連携を図るよう努めている。	・極端に少なく感じる時がある。 ・配置数は適切であるが、ひとりひとりが動きを意識する必要があると感じる時がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・教材・教具の配置やげた箱、ロッカー等を固定したり、文字、イラスト、写真などを活用して情報提供したりして、わかりやすいように工夫している。	・トイレで入口に子どもがわかる表示があってもよいかと思うが、刺激になるお子さんもいるので難しいか。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・ティッシュ、紙タオル、ハンドソープの補充等、気づいた時は行うようこころがけました。	・子ども達が活動に集中できるよう教材・玩具等整理整頓する必要がある。 ・できる限りの清潔は心がけているが、療育室以外の清潔がいきとどいていないといえない。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		・カンファレンスの場を活用し、一部の職員間での話にならないよう気を配っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		・保護者の意向を把握し、少しでも意向に沿えるよう意識している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	保護者向けの評価票のご意見などもありがたく、支援の振り返りの参考になったり、励ましになったりしている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		・外部評価については、検討し進めていく必要がある。 ・取り組んでいるのか分からない。

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・各種研修会は、必ず職員に周知し、希望に沿った研修の受講が可能である。	・研修だけでは資質向上が難しいと思うところもある。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			・ニーズや課題の分析のためには、アセスメントの精度を上げる必要がある。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	・特別使用していないが、状況を知るための手がかりとしている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1	・より具体的でわかりやすい表現で記載するよう意識している。	・自分自身は、子どものと捉えが甘く、うまく活用できていない。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		・支援計画の書類を目に付くところで管理し、意識できるようにしている。 ・カンファレンス等を通じて支援の振り返りを行うことで、全体で同じ方向性で支援が行われるよう努めている。 ・都度、確認したり、情報共有したりしながら行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		職員全員だったり、グループ職員だったり、必ずチームで行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	・子ども達の反応に応じてプログラムを工夫している。	・変更はあるが、同じ内容の繰り返しで固定化していると感じる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		・全ての領域を意識しながら、個々のお子さんに合った目標に向けた支援となるように気を配っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・朝礼時、必ず全職員で確認・検討している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・カンファレンスにて必ず情報共有を行っている。全員に周知できるようノートを活用している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			・必ず記録をとっている。記載にとどまらず、活用することを心がける必要がある。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・相談支援専門員とも連携し、多角的に評価や見直しを検討するよう努めている。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		会議の趣旨や内容に応じて、その都度参加者を検討している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		・不安なく健診を受けたり、医療機関を受診できたりするよう、必要に応じて連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・現在、対象となる子どもさんはいないが、会議の報告などを参考にし、受け入れた際のイメージをもつようになっている。	・対象児がない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	1	・現在、対象となる子どもさんはいないが、会議の報告などを参考にし、受け入れた際のイメージをもつようになっている。	・対象児がない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・支援担当者会議や、必要に応じて直接支援を行うなど、相互理解が図れるよう柔軟に対応している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・就学相談やすこやかファイルを使っての情報交換会で保護者と共に情報提供をしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	・年に数回情報交換会で研修や情報交換、共有を図っている。	・あまり機会がない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6	・特に交流の必要は感じていない。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2	・自立支援協議会部会に出席した職員からの復命や資料等で情報を得ている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・日常の子ども達への支援や保護者との会話を大切にしよう心がけている。 ・お子さんの状況に合わせて、保護者の方と相談したり、一緒に考えたりしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3	・銘打ってはいないが、常に意識して対応している。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		・入園時、ひとりひとりに理解して頂けるよう説明されている。	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		・保護者の意向と支援の目的が反映された計画になるよう検討し、同意して頂ける内容となるよう努めている。		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・保護者の方から気軽に声をかけて頂ける雰囲気づくりに気を配っている。	・都度上司に報告し、職員間で考えたり、話し合っで応じている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	3			・新型コロナウイルス感染症のため、活動も中止になっているよう。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		・速やかに対応できるよう体制を整え、広い視点を持ち、柔軟に応じるよう心がけている。 ・保護者の方からの話を聞かせていただき、適切に対応していきたい。		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月の園だよりの配布で写真などを通して日頃の活動を伝えるよう工夫している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7				・事務室内の掲示や机上の書類等注意を払う必要がある。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			お子さんの行動から意思を推察したり、追体験したりし、意思の疎通や理解に努めている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3			・新型コロナウイルス感染防止のため、地域とかかわる機会がない。 ・コロナの為、感染防止
非常時等	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1			・保護者にマニュアルの周知はしていない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・具体的な計画を立て、毎月実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1		・服薬については、詳細に確認するよう心がけている。	・予防接種は把握していない。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			・医師の指示書を複数で確認し、調理員との連携を密にしている。	

の 対 応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2		・報告を怠っている。 ・報告書を回覧し周知しているが、その後に役立てているか再考する必要がある。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	・研修等を受講し、適切な対応をしていきたい。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2	・身体拘束の定義や見解は難しいが、気になる対応支援については、その都度直接保護者に、その行為や理由を説明している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です